

環境報告書2006

環境報告書2006発行に際して ~ごあいさつ~

2005年度のエコ推進活動は、RoHS指令対応の最終準備活動を中心に展開してまいりました。

対応準備は綿密に計画を計り、厳密に検討を重ねた結果、2006年7月より実施する体制が整いました。

活動推進に際し、ご指導、ご支援を頂きましたお客様、ベンダー各社様に厚く御礼申し上げます。

ご高承の通り、RoHS指令は長期的視野に立ち、生態や地球環境にとって有害な6物質の排除規制であります。製造された製品本体に規制物質が含有されないことは勿論、その製品の製造過程においても使用しないという環境保護への強い意志が感じられます。

弊社も製品本体、製造プロセスの両面において3Rを基軸としたエコ推進活動に加えRoHS指令対応で一步前進した事業展開し、従業員一同で取り組んでまいります。

お客様、ベンダー各社様のご理解、ご支援をお願いいたします。



NECマイクロ波管株式会社
代表取締役社長

榎谷 琢一

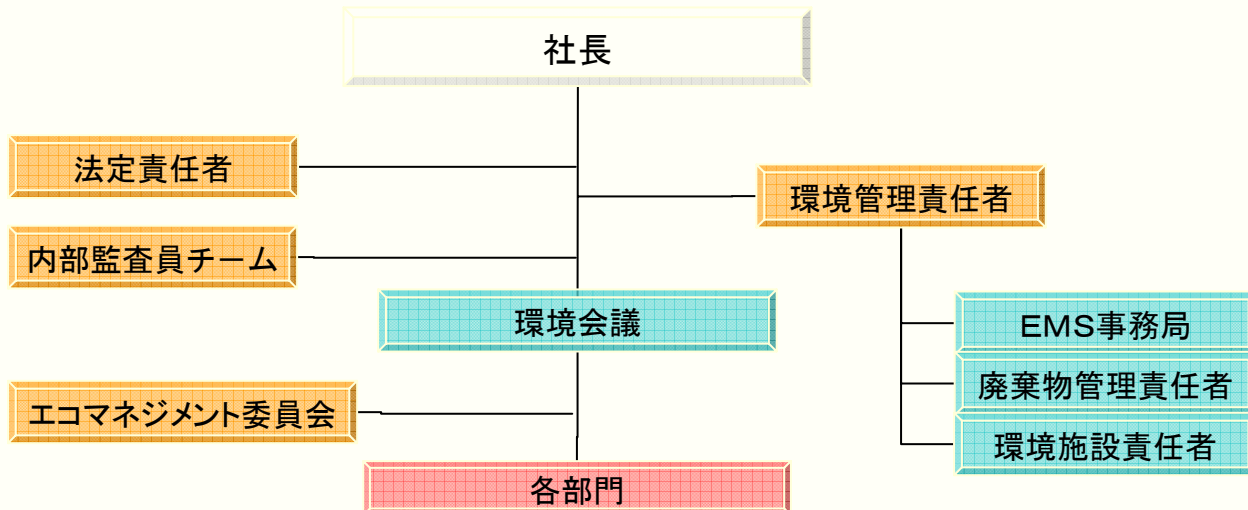
概要

NECマイクロ波管株式会社
 創立：2002年10月1日
 事業内容：電子管、電力増幅機器などの電子装置の開発、製造、販売及び保守サービス
 資本金：1億円
 従業員：120名

環境方針

NECマイクロ波管株式会社は豊かな社会の実現に貢献するため地球環境への思いやりを企業風土に醸成して行動します。

環境管理体制



2005年度の環境目標と結果

達成
 ほぼ達成
 未達

指標	環境目標項目	目標値	実績値	評価
環境配慮型	新規開発製品のすべてを環境配慮型に対応	100%	100%	
地球温暖化防止	CO ₂ 排出量	2294 t 以下	2438 t	
	電力使用量	5461MWh	5803MWh	
資源有効利用	化学物質使用量（法規制物質）	9.6 t	9 t	
リスクミニマム	法令遵守率	100%	100%	
有害物質削減 (RoHS指令対応)	鉛フリー半田化	100%	100%	
	六価クロム切替	100%	100%	
	購入部品のRoHS対象物質含有調査	100%	81%	

ISO14001:2004 2005年12月登録

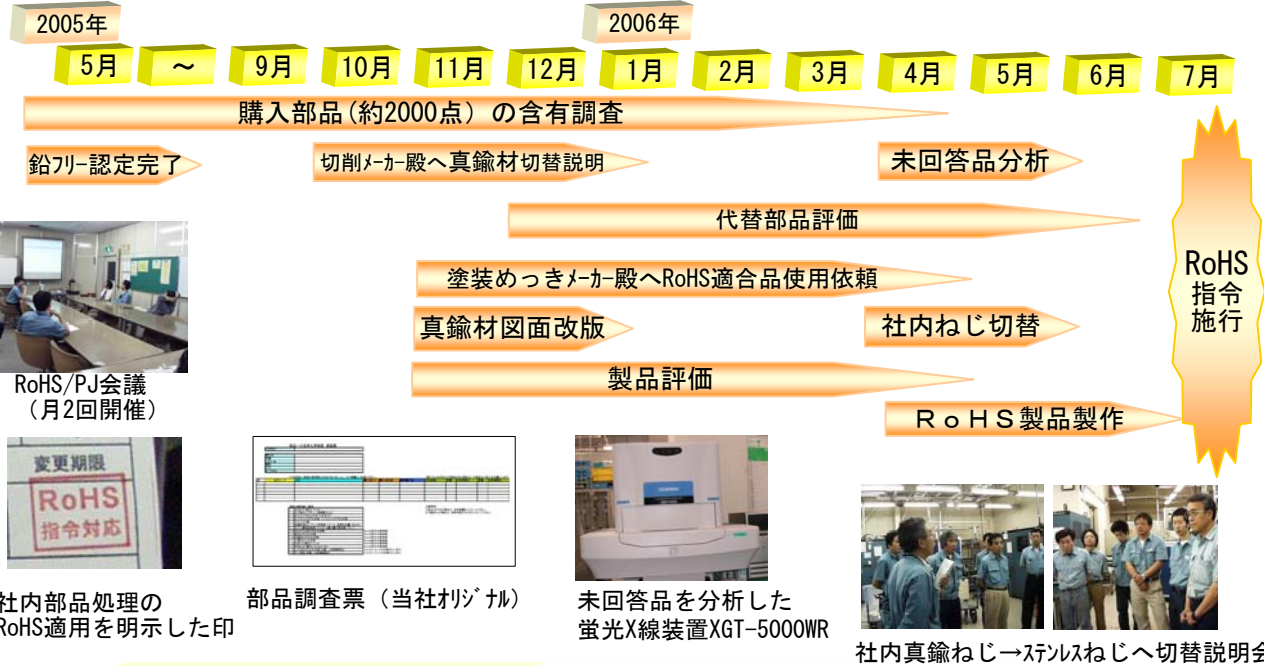
当社は、2003年10月にISO14001認証を取得しました。
 現在は、NECグループとして認証を受けています。
 国際規格が、ISO14001:2004として改訂された際には
 NEC環境経営監査にて変更審査を受け、認証を取得しました。
 (登録番号: JQA-EM3476T)



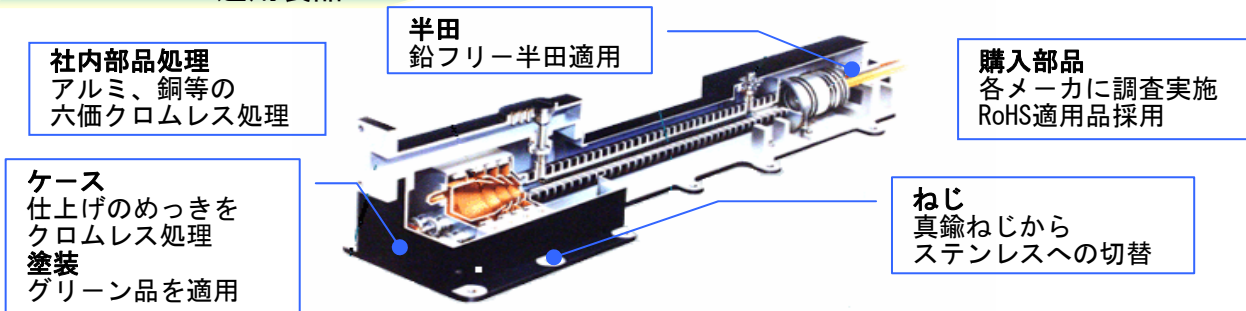
2005年度の活動内容①

RoHS指令への対応

当社は、海外出荷製品のRoHS指令適用を目指し、鉛フリー半田の適用拡大、社内部品（アルミ、銅等）の六価クロムレス処理等の活動をすすめてきました。2005年10月には、プロジェクトチームを発足し、製品評価・問題点抽出・取り決め事項等、アクションアイテムを進捗管理して、出荷までの社内ルートを確立させました。



RoHS適用製品



当社は、開発する製品の設計・評価および製造に関し各段階で審査するデザインレビュー（DR）及び従来機種と比べて環境に配慮した製品であるかを審査する製品アセスメントを実施しています。これに加え、RoHS指令に適合した製品であるかを審査する「RoHSアセスメント」の評価手法を確立させ、2006年度から本格的に運用をしていきます。法令に遵守し環境に配慮した製品の製作に、検討を重ねています。

デザインレビュー（DR）とアセスメントフロー



製品アセスメント評価ポイント：

低消費電力化製品、軽量・長寿命化、製造プロセス及び部品の有害物質削減

RoHSアセスメント評価ポイント：

全部品のRoHS指令対象物質（鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE）の含有調査、社内製造プロセスのRoHS指令適用確認

製品アセスメント I

製品アセスメント II

RoHSアセスメント

2005年度の活動内容②

一般廃棄物分別調査の実行

環境意識向上として、当社の2005年度目標の混合率5%を目指す活動として、一般廃棄物の分別調査を実施しています。
2005年で3年目を迎える定着化した活動です。
分別をすることで「ゴミ」ではなくなり、『もう一度資源になる』ということ調査を体験をして、理解を深める目的です。



分別廃棄の様子

各種教育の実施

転入者、昇格者の教育、NECマ管で働くすべての人への環境一般教育など、教育はかかせない項目として2005年度も推進しました。
2005年度はISO14001の2004年版が改訂され、著しい環境影響の原因となる可能性のある作業従事者教育に重点的に取り組みました。

- ・ 造排水処理施設の運転管理作業従事者
- ・ 廃油Cの排出作業従事者
- ・ 化学物質多量使用者

上記の3つの作業を特定し教育を実施しました。



著しい環境影響の原因となる可能性のある作業従事者教育

緊急事態訓練の実施

当社は、めっき排水を無害化する排水処理施設を保有しています。
緊急時に備えた訓練は、かかせない活動となっています。
2005年度の訓練の一つは、東海地震警戒宣言が発令され72時間以内に震度5以上の地震が発生することを予測した設定で行いました。
現場設備を停止して排水処理施設も停止するまで、連絡過程の重要性も認識して取り組みました。



地震発生発令をうけ施設のピットの切替する様子

また、土壌汚染については近年規制が強化されつつあるため当社で使用量の多い薬品（廃油C）の運搬時に、誤って土壌に漏洩した場合の訓練も実施しました。

どんな緊急事態が発生してもすばやい処置、行動がとれるよう様々な場面を想定して今後も活動を続けていきます。
(2005年度は緊急事態訓練を4件実施しました。)



廃油C漏洩の報告をする様子

愛酏で笑呼

NECのアースハーモニー2005「チーム・マイナス6%」運動で東京電力「テポール」サイトのNEC専用ページより環境家計簿をつける活動に積極的に参加して当社従業員の一人が見事、賞品の純米酒原酒「愛酏で笑呼」に当選しました。



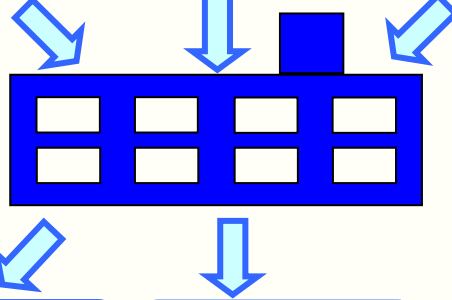
環境へのかかわり

INPUT

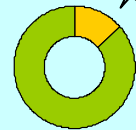
■ 資材
■ エネルギー
電力：5803MWh

■ 上水：5525m³

■ 化学物質：9 t
(法規制)



RECYCLE 状況



リサイクル 83%

OUTPUT

■ CO₂ 排出量
2438 CO₂-t
(NO_x、SO_xなし)

■ 排水量：4022m³
BOD：5.6kg

■ 廃棄物発生量
：17.1 t

2004年度8 tであった廃棄物発生量の増加は、従来リサイクル品としていた製品、設備、金属を廃棄物として取扱うこと（法令遵守）によるものです。（有価分<処理費用=廃棄物）
また現在は83%のリサイクル率を100%のゼロエミッションに達成させるため2006年度目標にかかっています。

2006年度の環境目標

指標	環境目標項目	目標値
環境配慮型	新規開発製品のすべてを環境配慮型に対応	100%
地球温暖化防止	CO ₂ 排出量	2414 t 以下
	電力使用量	5747MWh
資源有効利用	化学物質使用量（法規制物質）	8.9 t
資源循環	廃棄物排出量	21 t 以下
	ゼロエミッション達成	100%
リスクミニマム	法令遵守率	100%
有害物質削減	RoHS 指令遵守	100%
環境意識啓発	高環境意識層の拡大	60%以上

2006年度も目標達成に向け全力で取り組んでいきます。

NECマイクロ波管株式会社

〒229-1134 神奈川県相模原市下九沢1120
お問い合わせ先：技術部（生産技術）
TEL(042)771-4594
FAX(042)771-2464

発行日：2006年6月（VC09-環1469）

© NEC Microwave Tube, Ltd. 2006

環境報告書は、当社ホームページからご覧いただけます。
<http://www.nec-mwt.com/>